

## 北海道駒ヶ岳の火山活動解説資料（令和8年6月）

札幌管区気象台  
地域火山監視・警報センター

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### ○活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図1-①～③、図2）  
山頂に設置した監視カメラでは、昭和4年火口でごく弱い噴気を観測しました。山麓に設置した監視カメラでは、今期間、噴気は観測されていません。引き続き、噴気活動は低調な状態です。
- ・地震及び微動の発生状況（図1-④～⑥、図3）  
火山性地震は少なく、地震活動は低調な状態です。  
火山性微動は観測されていません。
- ・地殻変動の状況（図4～5）  
GNSS連続観測では、特段の変化は認められません。長期的には、山頂火口原付近を挟む基線で断続的に伸長傾向が続いています。

この火山活動解説資料は、気象庁のホームページでも閲覧することができます。

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び北海道のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』、『電子地形図（タイル）』、『数値地図25000（行政界・海岸線）』及び『基盤地図情報』を使用しています。

次回の火山活動解説資料（令和8年7月分）は令和8年8月10日に発表する予定です。

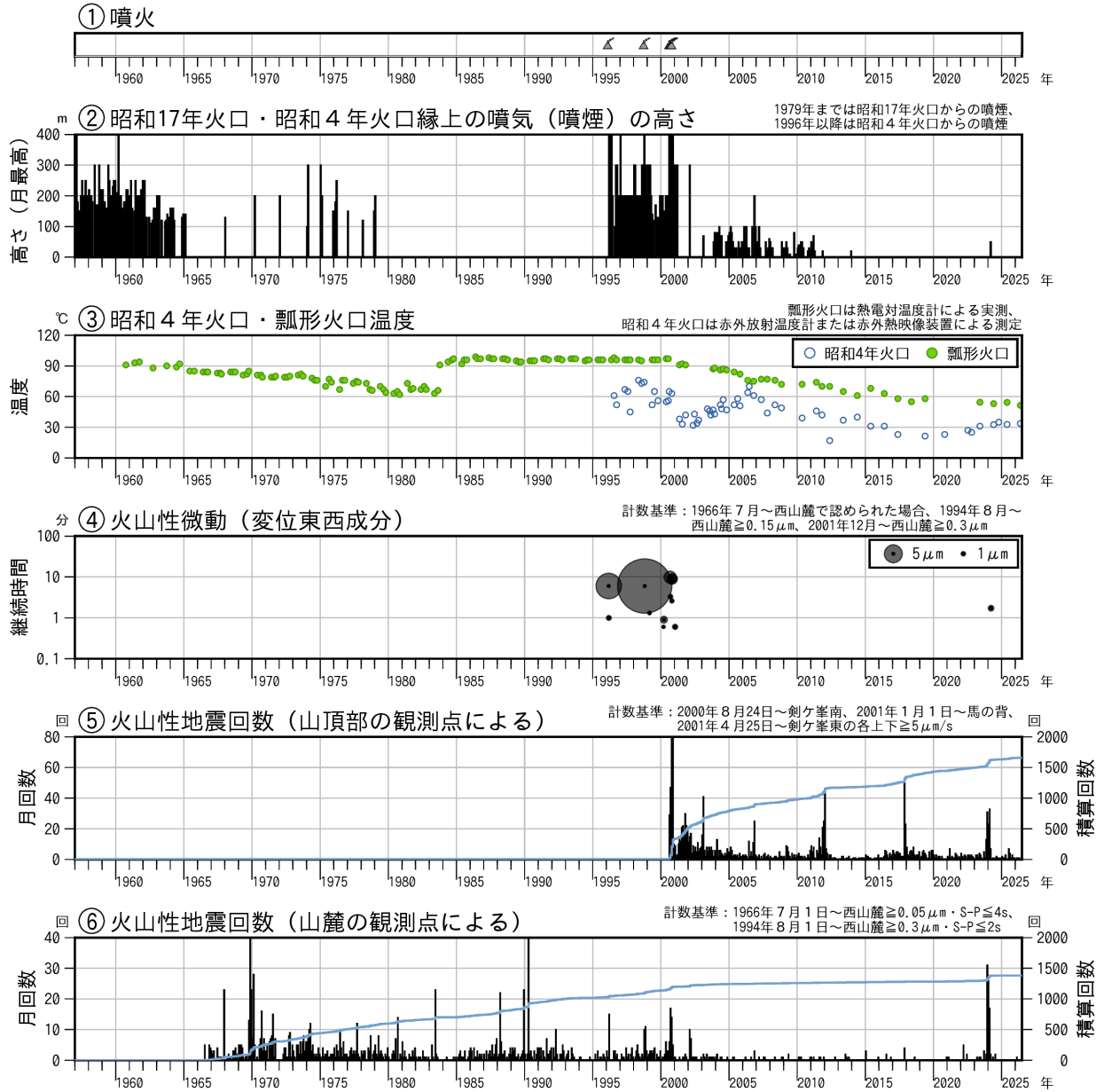


図1 北海道駒ヶ岳 火山活動経過図（1957年1月～2026年6月）  
各火口の位置は、図7を参照してください。



図2 北海道駒ヶ岳 南西側から見た昭和4年火口付近の状況（駒ヶ岳山頂（道）監視カメラによる）

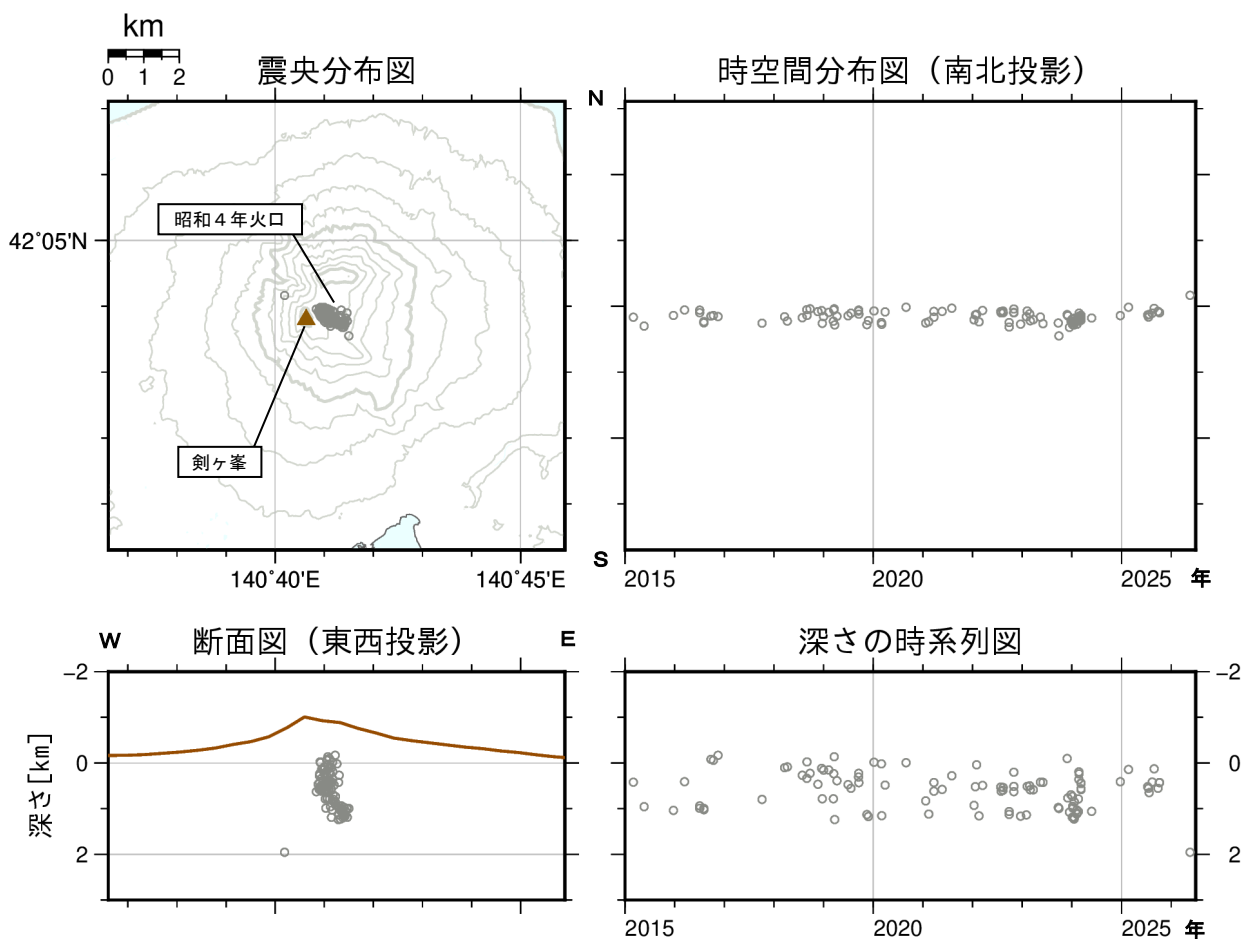


図3 北海道駒ヶ岳 火山性地震の震源分布（2015年1月～2026年6月）

○：2015年1月～2026年5月の震源  
 ・今期間、震源の求まった地震はありませんでした。

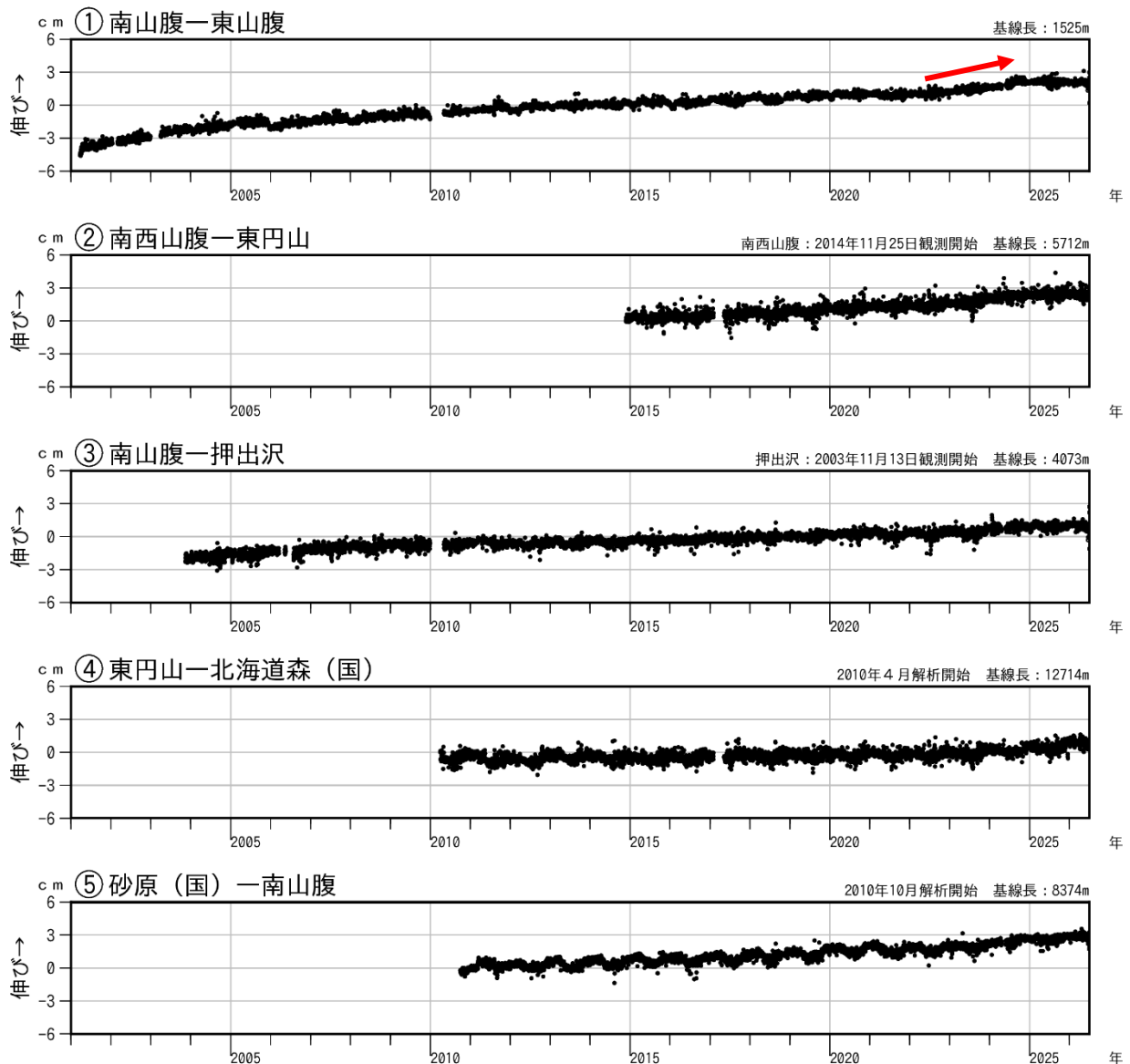


図4 北海道駒ヶ岳 GNSS連続観測による基線長変化（2001年4月～2026年6月）

グラフ①～⑤は図5の観測点配置図の基線①～⑤に対応しています。

グラフの空白部分は欠測を示します。

- ・2022年頃から山頂部の一部基線でわずかな伸長（赤矢印）が見られていましたが、2024年1月頃からは概ね停滞しています。
- ・長期的には、山頂火口原付近を挟む基線（基線①、③）で断続的な伸長が続いています。

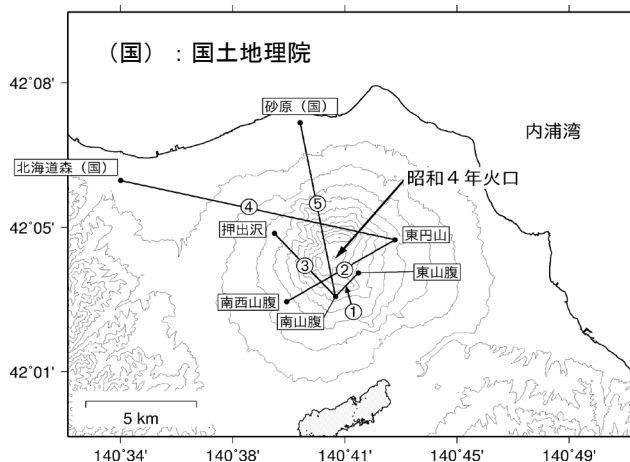
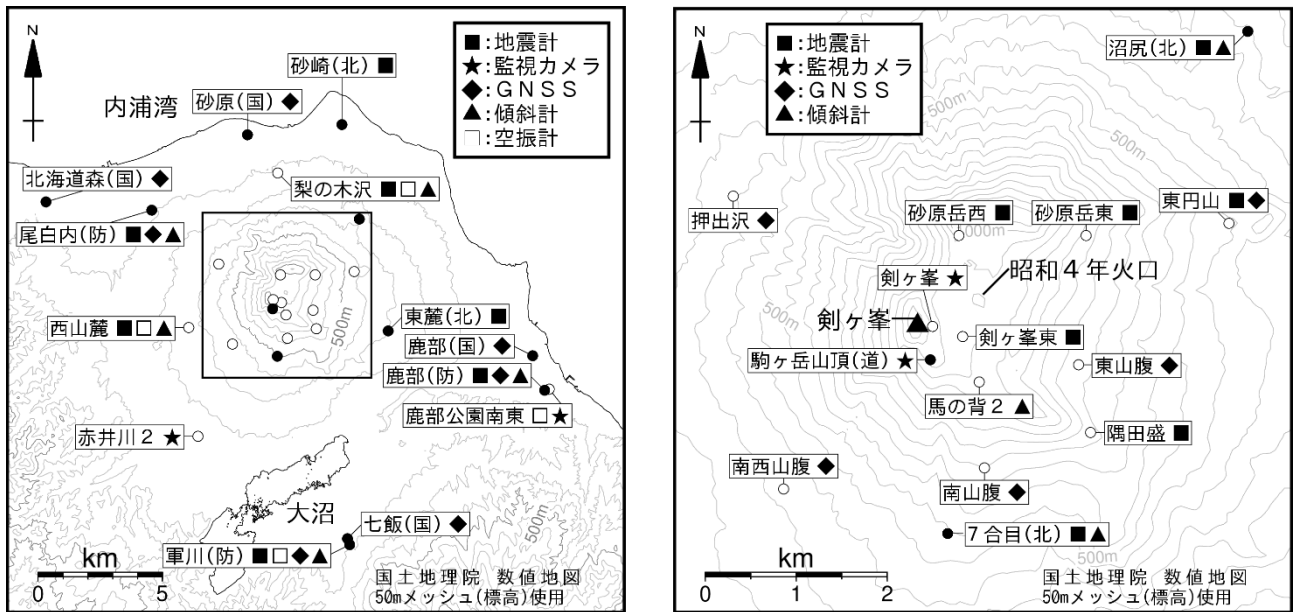


図5 北海道駒ヶ岳 GNSS連続観測の観測点配置図



小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は他機関の観測点位置を示しています。左図中の四角囲みは右図の表示範囲を示します。(国):国土地理院、(北):北海道大学、(防):国立研究開発法人防災科学技術研究所、(道):北海道

図6 北海道駒ヶ岳 観測点配置図



図7 北海道駒ヶ岳 山頂火口原周辺図